

2021年1月29日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
(株式会社三越伊勢丹ホールディングス)



三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「当社」)は、株式会社三越伊勢丹ホールディングス(取締役 代表執行役社長 CEO :杉江 俊彦、以下「三越伊勢丹ホールディングス」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」(※1))等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の CSR 戦略に規定されているサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット(以下「SPTs」)を設定し、貸付条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

三越伊勢丹ホールディングスでは、事業を通じた社会的課題の解決と企業価値向上を両輪とする持続可能な経営を目指しており、重点取組課題のひとつとして「持続可能な社会・時代をつなぐ」を掲げ、未来に向けて持続可能な社会をつなぐため、安全・安心な商品・サービスの提供、低炭素社会や省資源をはじめとした環境負荷低減につながる取り組みを推進しております。(※2)

本件は、以下の SPTs を設定しており、当社は本件融資を通じて、三越伊勢丹ホールディングスによる持続可能な社会の実現に向けた活動を支援することを目指します。

SPTs の内容
CDP(※3)が公開する気候変動に係るスコアにおいて、 リーダーシップレベル(A, A-)を維持すること

本件が貢献する主な SDGs
   

また本件は、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性、設定した SPTs の合理性について第三者意見(※4)を取得していません。

当社では、サステナビリティ・リンク・ローンを含むサステナブルファイナンスにおいて、SDGs の目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指してまいります。

以上

(※1) LMA は欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) 三越伊勢丹ホールディングスのウェブサイトをご参照ください。

ウェブサイト <https://www.imhds.co.jp>

サステナビリティページ <https://imhds.disclosure.site>

(※3) CDP は世界の主要企業や都市を対象に「気候変動」「水」「森林」に関する質問状を送付し、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求め、その回答をもとに評価・公表している NGO です。評価は、A、A- (リーダーシップレベル)、B、B- (マネジメントレベル)、C、C- (認識レベル)、D、D- (情報開示レベル) の 8 段階で付与されます。

(※4) 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/>